

一言メモ

茨城観光百選にも選ばれている牛久沼。はるか富士山や筑波山を望む穏やかな水面は四季折々の表情を映し出し、多くの詩人や文人、画家たちに愛されてきました。平成24年3月には、牛久沼沿いに遊歩道を整備し「牛久沼 かつぱの小径」と名付けられ、ウォーキングする方の姿が多く見られるようになった。牛久市ホームページより



得月院

1596年牛久城主由良国繁の母妙印尼が開基、大拙斎芸によって開山された。境内には妙印尼の墓碑である五輪塔や小川芋銭の墓碑などがある。境内は牛久城内にあったため、城郭の遺構も散見できる。



雲魚亭

小川芋銭の旧宅の敷地内に芋銭夫人と長男が新築した両室兼居宅。芋銭はここに移り住み古希記念新作品展などの準備に当たるが、翌年に脳溢血で倒れ、永眠するまで療養のための居宅となった。



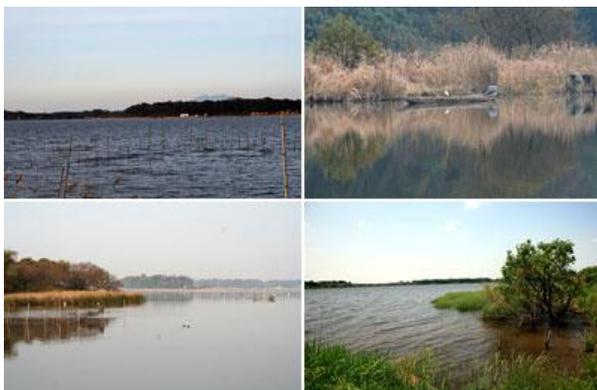
河童の碑

芋銭の生前の数々の偉業を讃えるために昭和26年に芋銭の友人「池田龍一」氏が中心となって建立された。河童の絵は「中村直人」氏が監修し「八柳恭次」氏が描いたもの。



観光アヤマ園

総面積8,000m²の敷地に約200品種、1万本のアヤマ、ハナショウブ、カキツバタがあり、紫、白、黄色と色とりどりに咲く花の魅力を楽しむことができる。毎年6月中旬に一番の見頃を迎える。



四季折々の牛久沼